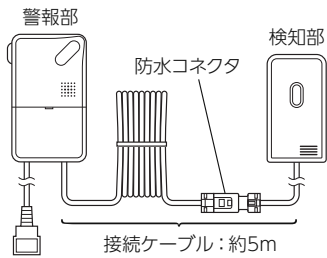


4-2 警報器の取り付け

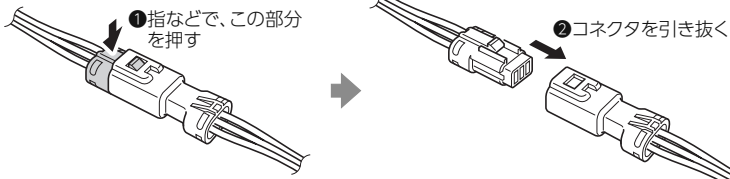
△注意

- 警報器を取り付ける際には、電源プラグをコンセントから抜いて作業を行ってください。感電・故障・誤動作の原因となります。
- 電気設備技術基準および内線規程により、電源コードはステッブルや釘などで固定しないでください。
- 電源コードや警報部・検知部の接続線の上に、重いものを置かないでください。

出荷時、警報部（PA-6M）と検知部（GD-6）は接続ケーブルで接続されています。



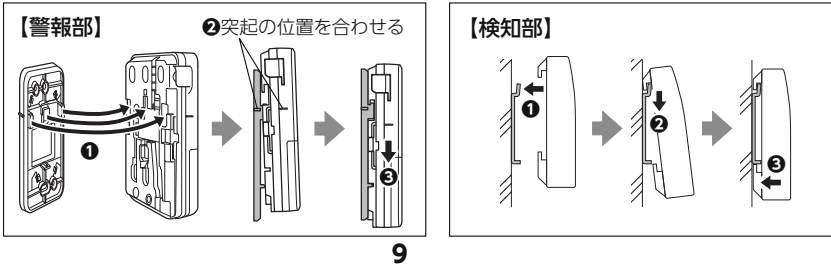
① 防水コネクタを取り外す。



② 警報器を取付板に取り付ける。

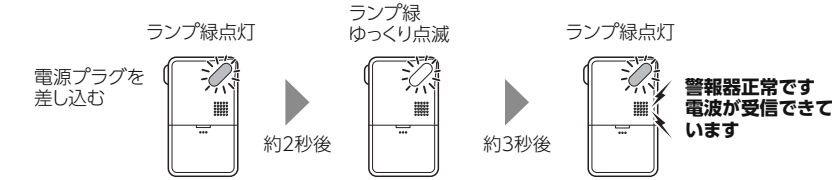
△注意

無理な力で、取付板に警報部を取り付けしないでください。
取付板が破損するおそれがあります。



- ③ 約3秒後ランプが緑色に点灯し、「警報器正常です 電波が受信できています」と鳴り、その後に電波の強度に応じて以下の3種類の音が鳴り、監視状態に入る。
※「電波が受信できています」の音声については、「警報器正常です」と鳴った後、最大10秒後に鳴ることがあります。

【電波強度】
電波強度（強）：「ビービービー」
電波強度（中）：「ビービー」
電波強度（弱）：「ビー」
※電波強度（中）（弱）ですと条件によっては通信エラーを起こす場合がありますので、電波強度（強）で使用してください。
※通信エラーの場合は、「ビッビッビッ メータ側の無線機の電波が受信できません」が鳴ります。通信状態が良好になるように、警報部またはマイコンメータ遮断用無線装置を移動してください。
※警報器が故障している場合は、ランプが緑色に点滅し続け、「ビッビッビッ」と鳴ります。別の警報器とお取り替えください。



5-3 マイコンメータ遮断用無線装置との通信確認

以下の要領で、マイコンメータ遮断用無線装置との通信確認を確認することができます。

① マイコンメータ遮断用無線装置の電源が入っていることを確認します。

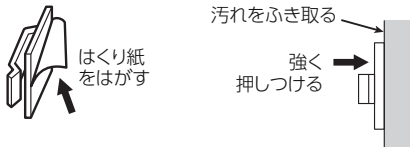
② 警報停止スイッチを1秒間押すと、ランプが緑色に点滅し、「ビッ」と鳴ります。

③ 「警報器正常です 電波が受信できています」と鳴り、その後に電波の強度に応じて、3種類の音が鳴ります。

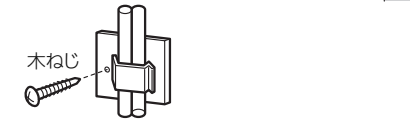
※「電波が受信できています」の音声については、「警報器正常です」と鳴った後、最大10秒後に鳴ることがあります。

【電波強度】
電波強度（強）：「ビービービー」
電波強度（中）：「ビービー」
電波強度（弱）：「ビー」
※電波強度（中）（弱）ですと条件によっては通信エラーを起こす場合がありますので、電波強度（強）で使用してください。
※通信エラーの場合は「ビッビッビッ メータ側の無線機の電波が受信できません」が鳴ります。通信状態が良好になるように、警報器またはマイコンメータ遮断用無線装置を移動してください。

③ コード振れ止めを壁面に固定する。



〈接着だけで取り付けできない場合〉
木ねじを使用して固定する。

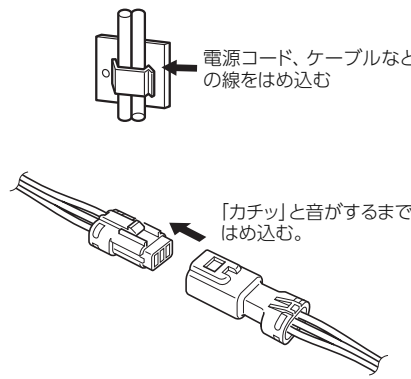


④ 電源コード、ケーブルなどの線を、コード振れ止めにはめ込む。

おながい

余った電源コードや接続ケーブルは、ガス検知の妨げにならないよう、警報器のガス検知部から離して置いてください。

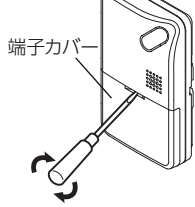
⑤ 防水コネクタを取り付ける。



4-3 接続ケーブルの長さを調整する場合

接続ケーブルは、0.3mm²で200mまで延長できます。
準備するもの：マイナスドライバー、ニッパー、延長ケーブル（線色などで極性が区別できるもの）
閉端圧着スリーブ、ビニルテープ、充填材（シリコン系を除く）
※ 使用可能延長ケーブル
線材（推奨）：HKVF（通信機器用二種ビニルコード）
VCTF（ビニルキャブタイヤ丸形コード）
太 さ：0.3～1.25mm²（AWG22～15）
※ 延長ケーブルは、耐候性の線材をご使用ください。

① 端子カバーを外す。 端子カバーの溝にマイナスドライバーを差し込んで回してください。

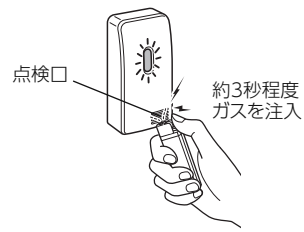


5-4 ガス警報機能の点検

△注意

付属の点検ガス以外は、絶対に使用しないでください。

① 点検ガスの先端を検知部の点検口にあてる。



② 点検ガスのレバーを押さえて、点検口に約3秒程度ガスを注入する。 ランプが赤色に点灯して警報音が鳴ると警報器は正常に作動しています。

※ガスを注入しても、警報を発しない場合は、もう一度同じ作業を行ってください。それでも警報を発しない場合は、警報器の故障が考えられますので、別の警報器とお取り替えください。

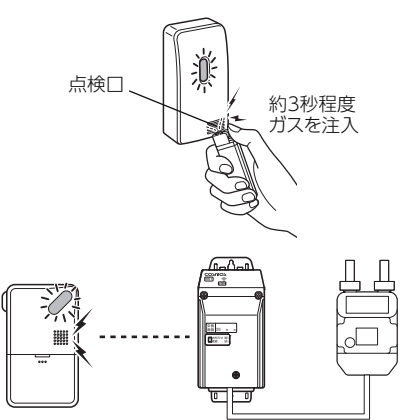
5-5 简单点検機能でのマイコンメータとの運動確認

電源プラグをコンセントに差し込んでから約4分30秒間は、简单点検機能が働いています。マイコンメータにしゃ断信号を即時で出力するため、運動確認が容易に行えます。

① マイコンメータ遮断用無線装置の電源が入っていることを確認する。

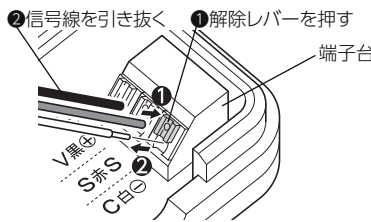
② 電源プラグをコンセントに差し込んだ後、警報器が監視状態（ランプ緑点灯）になったことを確認する。

③ 「5-4 ガス警報機能の点検」を行って警報が鳴りやんでから、再度「5-4 ガス警報機能の点検」を行う（2回行う）。 警報音が鳴り、即時でマイコンメータにしゃ断信号を出力します。



※電源プラグをコンセントに差し込んで約4分30秒以降は、ガス警報が鳴ってから約25～35秒後に、警報器がしゃ断信号を出力します（通常動作）。

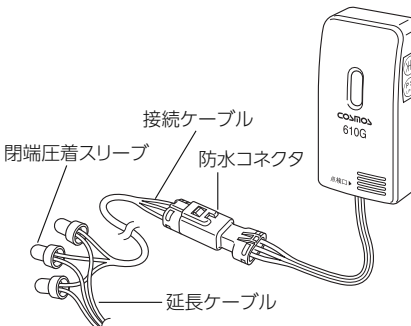
② 端子台の解除レバーを押しながら、接続ケーブルを引き抜く。



③ 延長ケーブルを、閉端圧着スリーブで接続ケーブルの警報部側端末に接続する。

おながい

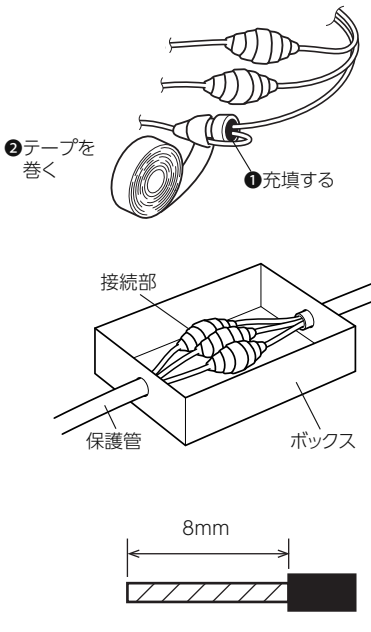
検知部側接続ケーブルは延長しないでください。故障の原因となります。



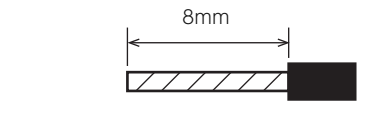
④ 閉端圧着スリーブの接続部を充填材で埋め、接続部分を1本ずつビニルテープで巻いて処理する。

△注意

- ケーブルの接続部は、直接水や油がかかったり、水没のおそれのある場所には置かないでください。ケーブルの施設場所の状況に応じて、接続部をボックスに収めたり、ケーブルを保護管に入れるなどの処置をしてください。（ただし、接続部は保護管内に入れないでください。）
作動不良になるおそれがあります。
- 処理を行った箇所に負荷がかからないようにしてください。



⑤ 右図のように、延長したケーブルの先端の被覆を剥き、延長したケーブルを警報部の端子部の表示に従って接続する（P.11手順②参照）。



6 交換期限お知らせ機能を解除する場合

出荷時、交換期限お知らせ機能が働いています（警報器の交換期限を過ぎたことをランプの緑色の点滅でお知らせする機能です）。
交換期限お知らせ機能を解除する場合は、警報停止スイッチを押しながら電源プラグをコンセントに差し込んでください。

ランプが緑色に速く点滅し、約3秒後に点灯に変わり、警報器は監視状態に入ります。
※交換期限お知らせ機能を再度設定する場合は、同じ手順を繰り返してください。交換期限お知らせ機能の変更（設定・解除）は何度でも可能です。



7 廃棄について

本警報器の廃棄の際は、お住いの市町村の廃棄物の処理方法にしたがって廃棄してください。

8 お客さまへの説明について

8-1 警報器の説明

- ①警報動作および点検結果の説明。
- ②取扱説明書を必ず読んでいただくことをお願い。
- ③取扱説明書（保証書付）の保管のお願い。
- ④取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
5. 異常発生時（故障、電池切れ）の内容（ランプが緑点滅と音声合成音の確認）と処置の説明。
6. 警報器確認機能の説明。
7. 鳴動原因表示機能の説明。
8. 警報停止スイッチの説明
 - 機器故障音声機能
 - 電池切れ音声機能
 - 交換期限お知らせ機能
 - 通信エラー音声機能

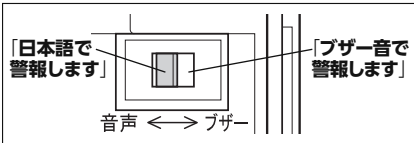
8-2 お客さまへの周知事項

- ①警報器の交換期限のお知らせ（本体に表示）。
- ②保証書を必ず読んで内容を理解した上で取り扱うこと。
- ③警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカーに記載の緊急連絡先のお知らせ。
- ④警報器の移設禁止（移設依頼時の連絡先）。
- ⑤警報器の分解禁止。
- ⑥引越時の処置。
- ⑦故障・異常時の連絡先。

5 取り付け後の点検

5-1 警報音声の設定

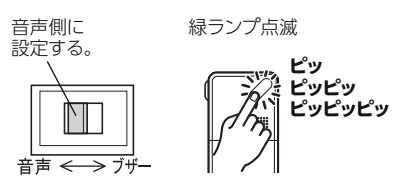
警報器の音声は、ブザー・音声（日本語）・音声（日本語と中国語）の3種類があります。
初期設定はブザーに設定されていますので、必要に応じて、音声/ブザー切替スイッチと警報停止スイッチで、設定の変更を行ってください。



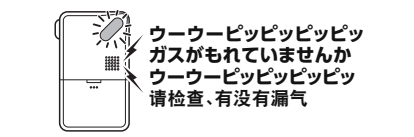
音声/ブザー切替スイッチを切り替えると、「ブザー音で警報します」「日本語で警報します」が鳴り、音声の切り替えが完了する。

〈警報音を中国語に設定する場合〉

① 音声/ブザー切替スイッチを音声側に設定した状態で、警報停止スイッチを「ビッ」「ビッビッ」「ビッビッビッ」と鳴るまで押し、スイッチを離す。



② 日本語と中国語の警報音声交互に鳴り、設定が完了する。 ※中国語に設定した状態で、音声/ブザー切替スイッチを、ブザー、音声の順に切り替えると「日本語と中国語で警報します」が鳴ります。



5-2 初期動作の点検

△注意

必ずマイコンメータ遮断用無線装置の電源が入っていることを確認してください。

① マイコンメータ遮断用無線装置の電源が入っていることを確認する。

② 電源プラグをコンセントに差し込む ランプが緑色に約2秒間点灯後、緑色にゆっくり点滅※5します。 ※5：ゆっくり点滅 ランプが消灯から点灯、点灯から消灯へ連続的に変化します。 ※交換期限お知らせ機能を解除している場合、ランプ動作は点滅となります。

【参考】警報器が発する音声一覧

項目	ブザー	音声
監視時	—	—
初期動作終了時	「警報器正常です」	「電波が受信できています」
ガス警報時	「ウーウービッビッビッ」	（日本語） 「ウーウービッビッビッガスがもれていませんか」 （日本語と中国語） 「ウーウービッビッビッガスがもれていませんかウーウービッビッビッ請検査、有没有漏气」
マイコンメータとの連動音声	しゃ断予告 しゃ断 復帰安全確認中 ガス使用許可	「ビッ」 「ビッビッ」 「ビッビッビッ」 「ビッ」 「ガス」

※中国語の音声は、ガス警報時のみ鳴動します。それ以外は、日本語による音声です。
※マイコンメータとの連動音声は鳴っているときにガスを検知すると、ガス警報時の音声で鳴動します。

項目	ブザー	音声
警報部が故障時	「ビッビッビッ」	「ビッビッビッ 警報部故障です」
検知部が故障時	「ビッビッビッ」	「ビッビッビッ 検知部故障です」
警報部⇔検知部の誤配線（VSCの誤配線、断線）	「ビッビッビッ」 ※誤配線検知後、3分後に鳴動	「ビッビッビッ 検知部との配線を確認してください」
マイコンメータ遮断用無線装置⇔マイコンメータの誤配線	「ビッビッビッ」 ※誤配線検知後、24時間後に鳴動	「ビッビッビッ メータと無線機の配線を確認してください」
警報器とマイコンメータ遮断用無線装置間の無線通信がエラー時	「ビッビッビッ」	「ビッビッビッ メータ側の無線機の電波が受信できません」
マイコンメータ遮断用無線装置の電池が切れた時	「ビッ」	「ビッ メータ側の無線機が電池切れです」
警報器の交換期限お知らせ（交換期限を過ぎて、警報停止スイッチを押した場合）	「警報器の交換期限が過ぎています 販売店に連絡してください」	
マイコンメータ遮断用無線装置の交換期限お知らせ（交換期限を過ぎて、警報停止スイッチを押した場合）	「メータ側の無線機の交換期限が過ぎています 販売店に連絡してください」	

※ブザー設定時、警報停止スイッチを押すと音声で鳴ります。

新コスモス電機株式会社	
本社	〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4 (06)6308-3155 (代)
【北海道】	札幌 (011)231-1101 (代) [中部] 名古屋 (052)951-2650 (代)
【東北】	仙台 (022)295-6061 (代) 静岡 (054)255-1901 (代)
【北陸】	金沢 (076)234-5611 (代) 大阪 (06)6308-3155 (代)
【関東】	東京 (03)5403-2706 (代) [関西・中国] 岡山 (086)435-5087 (代)
	新潟 (025)365-1390 (代) 広島 (082)568-2800 (代)
	[九州] 福岡 (092)431-1881 (代)